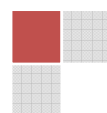




Analyze232C 専用USBアダプタ

Windows 7 インストール説明書

Windows 7 へ Analyze232C 専用 USB アダプタ ALZUSB-001 をインストールします。



目次

1. はじめに.....	1
2. インストール	2
概要.....	2
手順.....	2
3. インストールの確認.....	9
4. Analyze232C の設定	10
5. アンインストール.....	12
概要.....	12
手順.....	12

1. はじめに

この度は Analyze232C 専用 USB アダプタをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

初期の Analyze232C は、Windows PC の標準 COM ポート 2 個を利用して RS-232C 回線をモニタするソフトウェアでした。当時はユーザー様ご自身で必要な接続ケーブルをご用意いただく必要があり、ハードウェアに精通していないソフトウェア技術者の方達には少しハードルの高い RS-232C ラインモニタでした。

その後、ハードウェアに精通していないソフトウェア技術者の方達にも手軽にご利用頂けるよう Analyze232C 専用ケーブルのご提供が始まります。

しかし時代の流れと共に COM ポートを実装している PC が少なくなり、今ではほとんどの PC が USB に置き換わっています。

そこでご提供を開始したのが、この Analyze232C 専用 USB アダプタです。

Analyze232C 専用 USB アダプタには、仮想 COM ポート 2 個。そして Analyze232C 専用ケーブルと同じ配線をした回路が 1 つのケースに納められています。このため、Windows PC に空き USB ポートが 1 つあれば、RS-232C 回線を 1 回線モニタ出来る様になりました。

USB を利用するにあたり Analyze232C 専用 USB アダプタのドライバソフトウェアを Windows にインストールする必要があります。

このマニュアルは、Windows 7 (32 ビットまたは 64 ビット) に Analyze232C 専用 USB アダプタをインストールするためのインストールマニュアルです。

2. インストール

概要

Windows 7 に管理者権限を持つユーザでログインしてください。

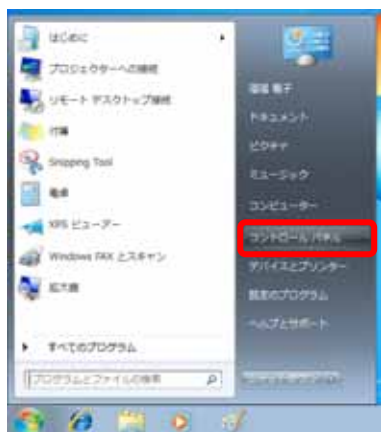
Analyze232C 専用 USB アダプタ(ALZUSB-001)を PC に接続すると、自動的にドライバソフトウェアのインストールが開始されますが、専用ドライバが Windows 7 には保存されていないので、ドライバインストールは失敗します。

その後、手動でドライバソフトウェアをインストールしてください。

ALZUSB-001 には、USB ドライバと仮想 COM ポートドライバの 2 種類のドライバがインストールされます。また ALZUSB-001 には 2ch の COM ポートが実装されていますので、2 種類×2ch の合計 4 つのドライバがインストールされます。

1ch の COM ポートに 2 種類のドライバをインストールすると、残りの 1ch は自動的に同じドライバがインストールされます。

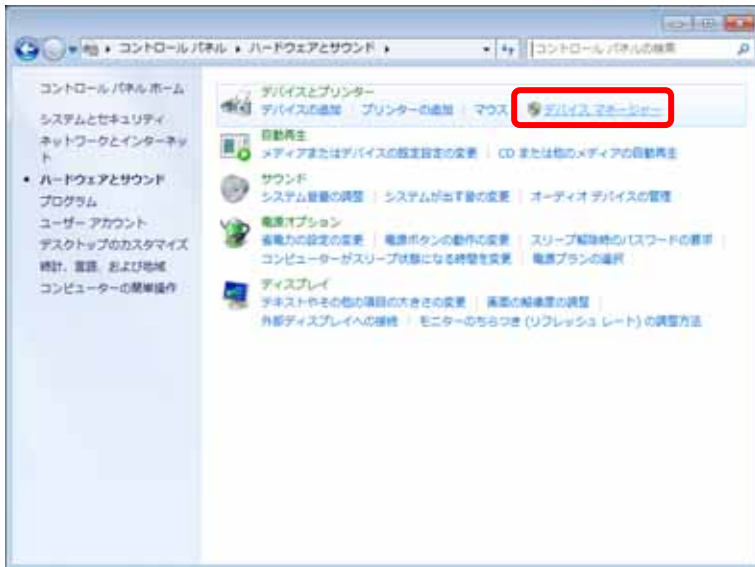
手順



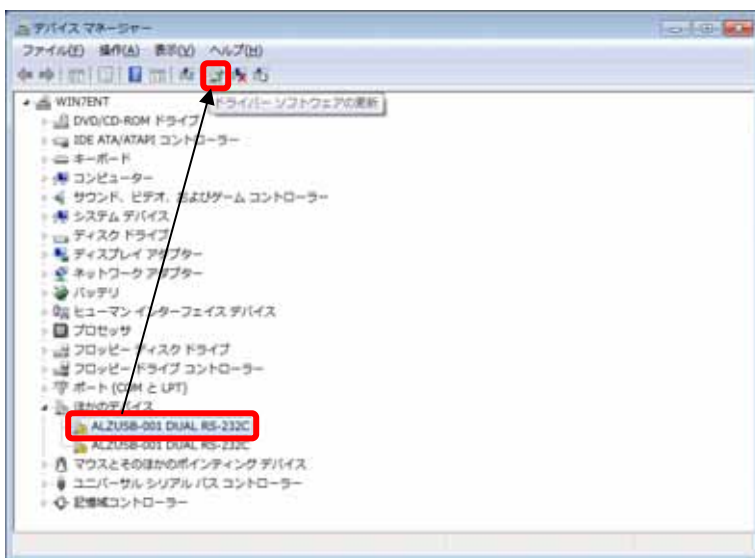
スタートボタンをクリックしてコントロールパネルをクリックします。



ハードウェアとサウンドをクリックします。



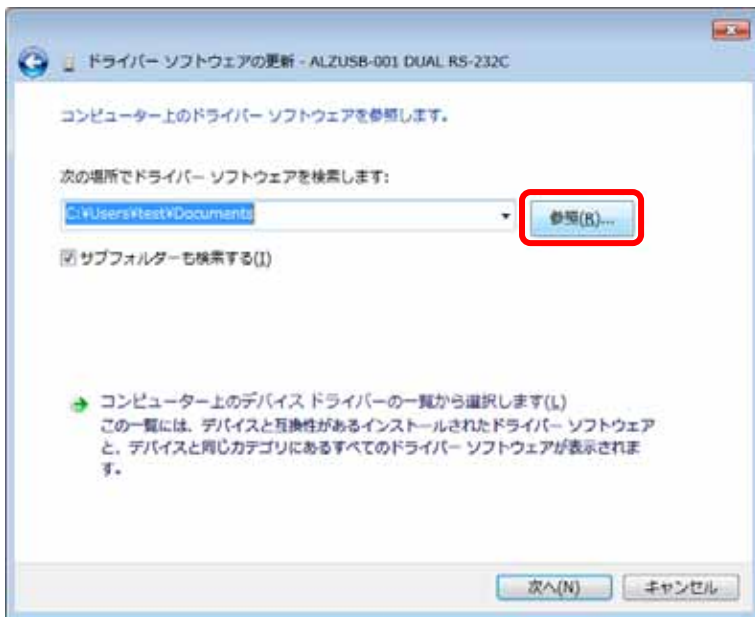
デバイスマネージャーをクリックして
デバイスマネージャーを起動します。



ほかのデバイスを展開すると、
ALZUSB-001 DUAL RS-232C が表示
されます。
ALZUSB-001 DUAL RS-232C をク
リックして選択状態にし、ツールバーの
『ドライバーソフトウェアの更新』をク
リックします。



ドライバーソフトウェアの更新ダイア
ログが表示されたら、『コンピューターを
参照してドライバーソフトウェアを検
索します』をクリックします。



参照ボタンをクリックします。

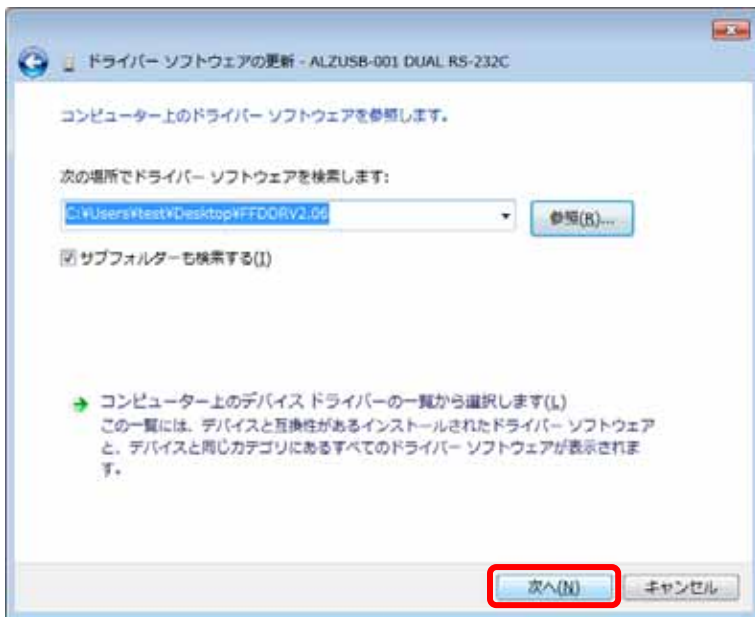


ALZUSB-001 ドライバが保存されている場所を指定し OK ボタンをクリックしてください。

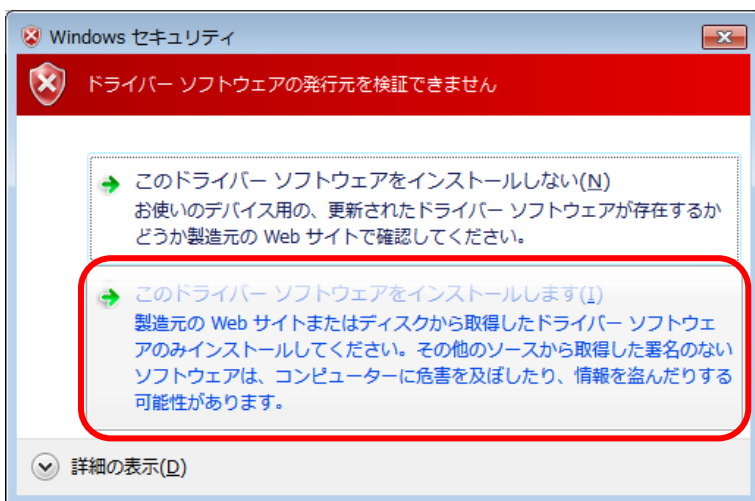
ドライバは、製品に同梱されている記録メディアまたは弊社 Web サイトからダウンロードできます。

この例では、PC のデスクトップに保存したドライバを指定しています。

フォルダ名は、バージョンやメディアによって異なる場合があります。

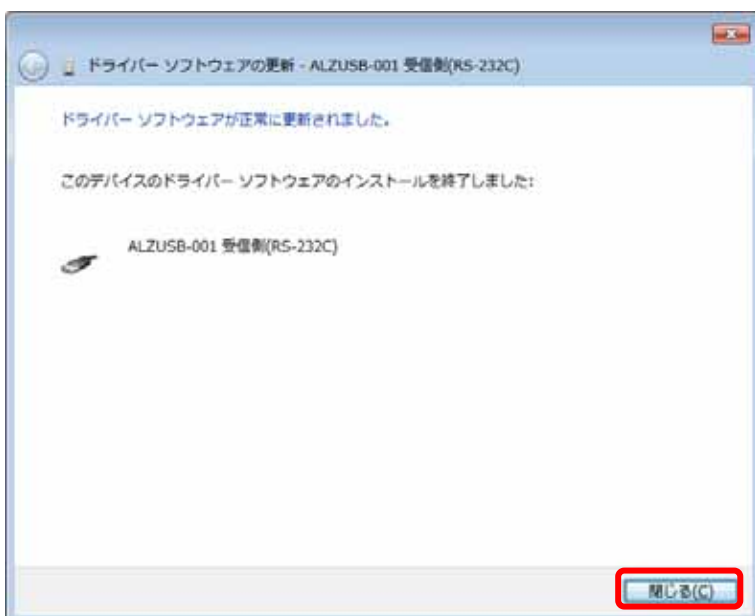


次へボタンをクリックするとドライバのインストールが開始されます。

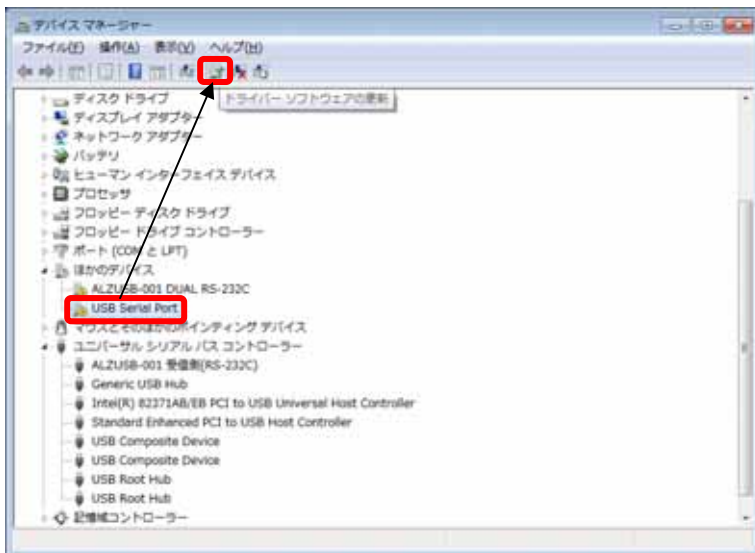


ドライバのインストールが開始されると『Windows セキュリティ』の警告が表示されます。

内容を確認して『このドライバーソフトウェアをインストールします』をクリックしてください。

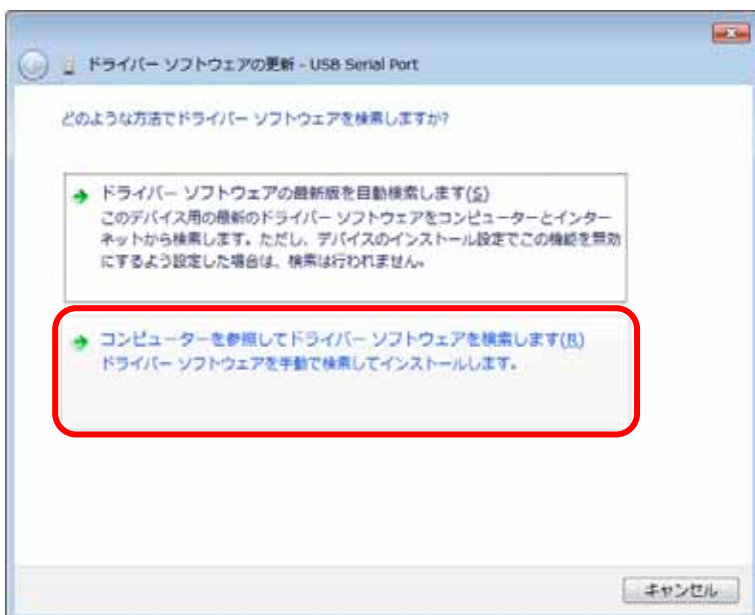


USB ドライバのインストールが終了するとダイアログが表示されますので、閉じるボタンをクリックします。

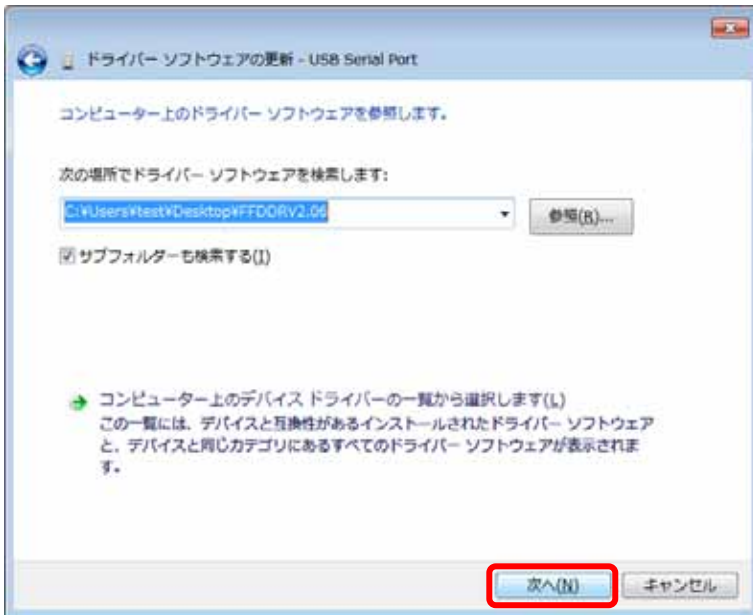


USB ドライバのインストールが終了してしばらくすると、ほかのデバイスに『USB Serial Port』が表示されます。

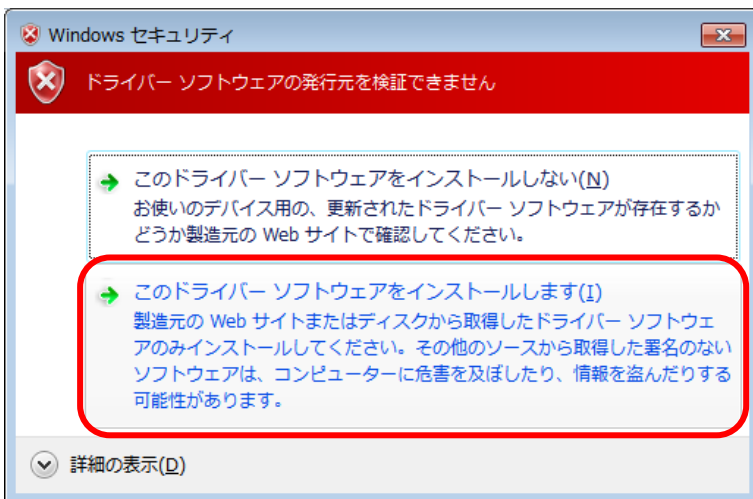
その『USB Serial Port』をクリックして選択状態にし、ツールバーの『ドライバーソフトウェアの更新』をクリックします。



ドライバーソフトウェアの更新ダイアログが表示されたら、『コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します』をクリックします。



ドライバが保存された場所は、先ほどと同じ場所なので何も変更せずに次へボタンをクリックします。



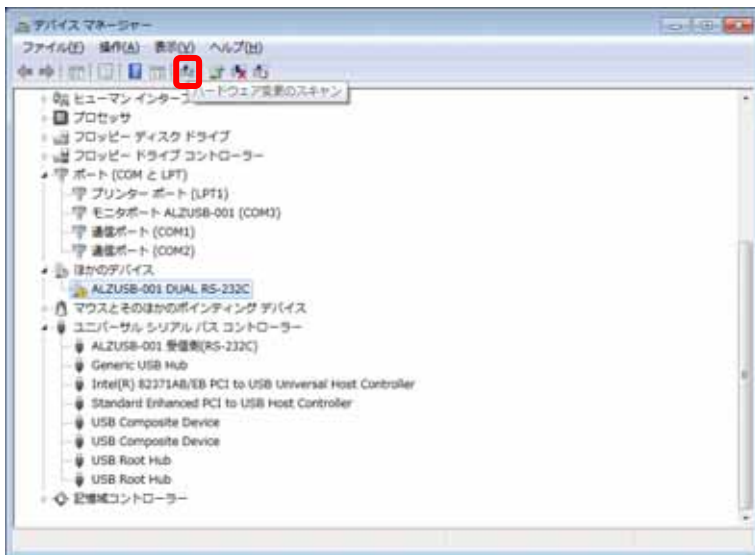
ドライバのインストールが開始されると『Windows セキュリティ』の警告が表示されます。

内容を確認して『このドライバーソフトウェアをインストールします』をクリックしてください。



仮想 COM ポートドライバのインストールが終了するとダイアログが表示されますので、閉じるボタンをクリックします。

これで 1ch 分の USB ドライバと仮想 COM ポートドライバがインストールされました。



1chのCOMポートに2種類のドライバがインストールされたので、ツールバーにある『ハードウェア変更のスキャン』をクリックするだけで、残り1chのドライバは自動的にインストールされます。

以上でインストールが終了です。

【ご注意】

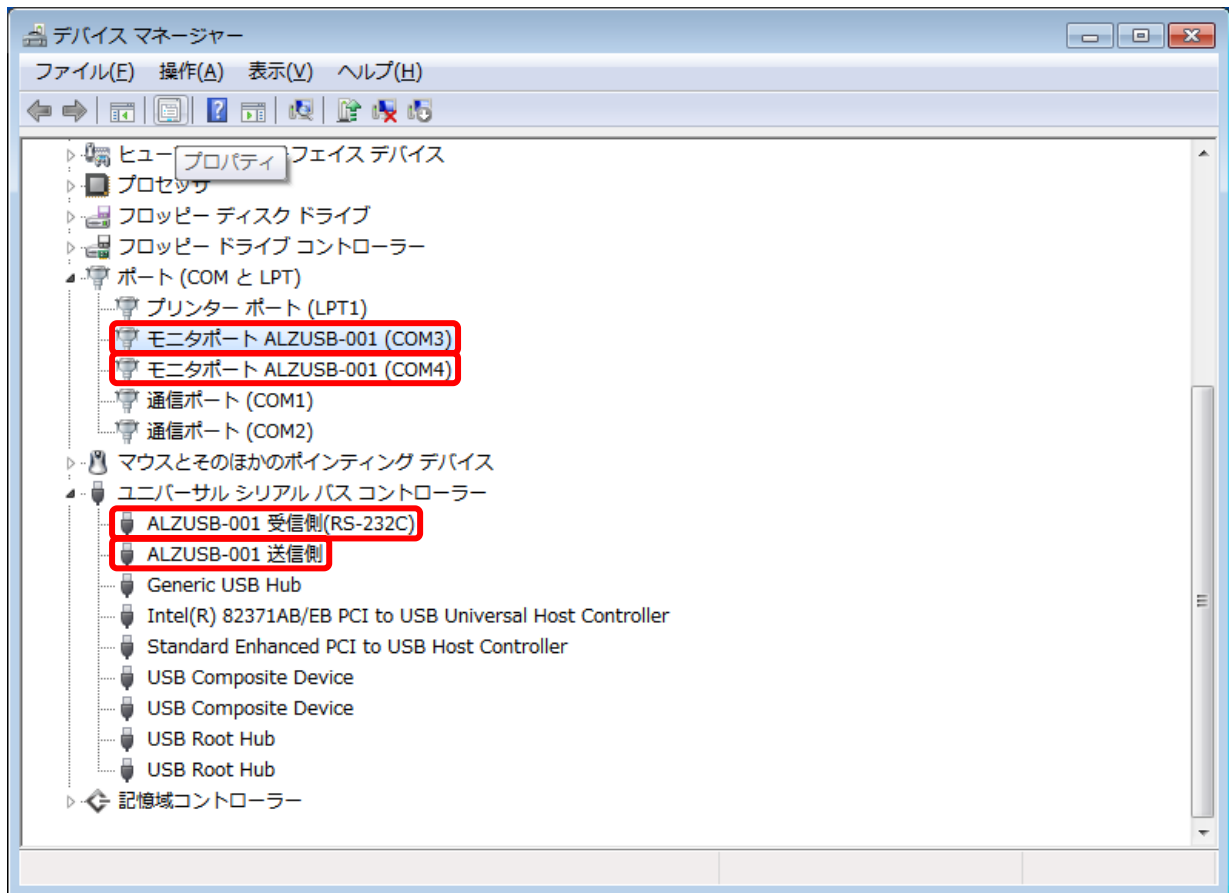
インストール例では、COMポート番号がCOM3とCOM4になっています。このCOMポート番号は、空きポート番号から割り当てられますので、ご利用のPCによっては別の番号が割り当てられる可能性があります。

3. インストールの確認

正常にインストールできたかデバイスドライバを使用して確認する事が出来ます。

インストール手順と同様にデバイスマネージャーを起動して、『ポート(COM と LPT)』および『ユニバーサルシリアルバスコントローラー』を展開してください。

次の様に4つのドライバがインストールされていれば正常です。



COM ポート番号は、ご利用の PC によって異なる場合があります。

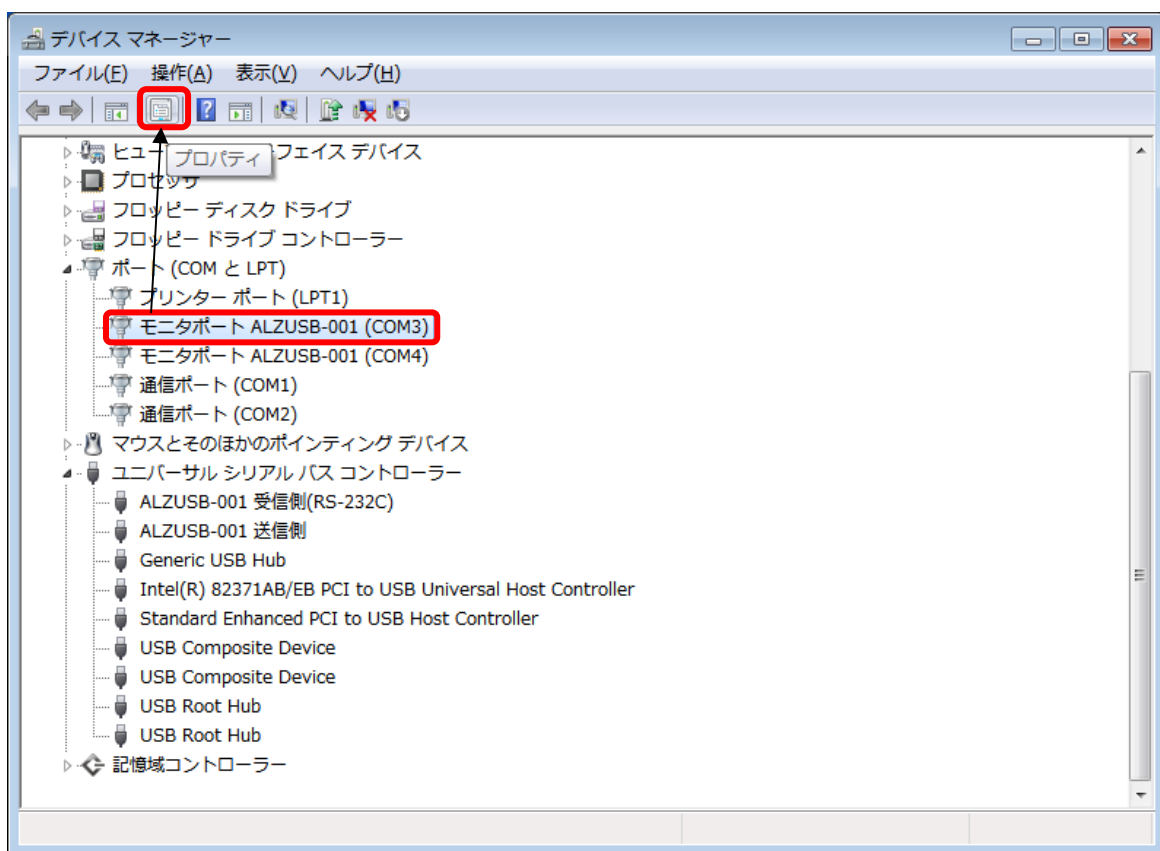
4. Analyze232C の設定

RS-232C は、全二重通信です。1 回線に送信ラインと受信ラインが独立して設けられており送受信を同時に行う事が可能です。

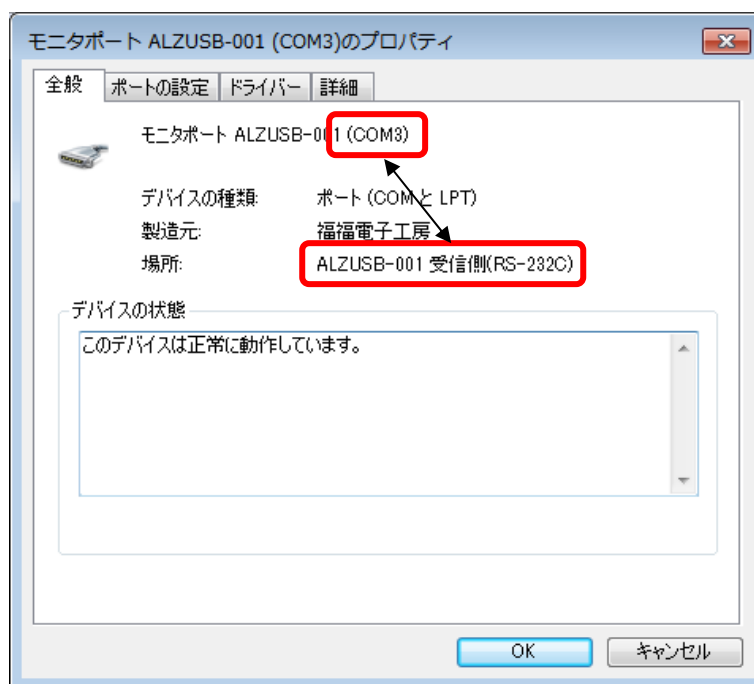
Analyze232C は、2 つの COM ポートを利用して、RS-232C の送信ラインと受信ラインを同時にモニタします。Analyze232C の COM ポート設定では、送信側でオープンした COM ポートで送信ライン。受信側でオープンした COM ポートで受信ラインをモニタします。

インストールされた ALZUSB-001 の 2ch の仮想 COM ポートのどちらが送信側か？受信側か？を調べるには、デバイスマネージャーを利用します。

インストールと同じ手順でデバイスマネージャーを開いてください。

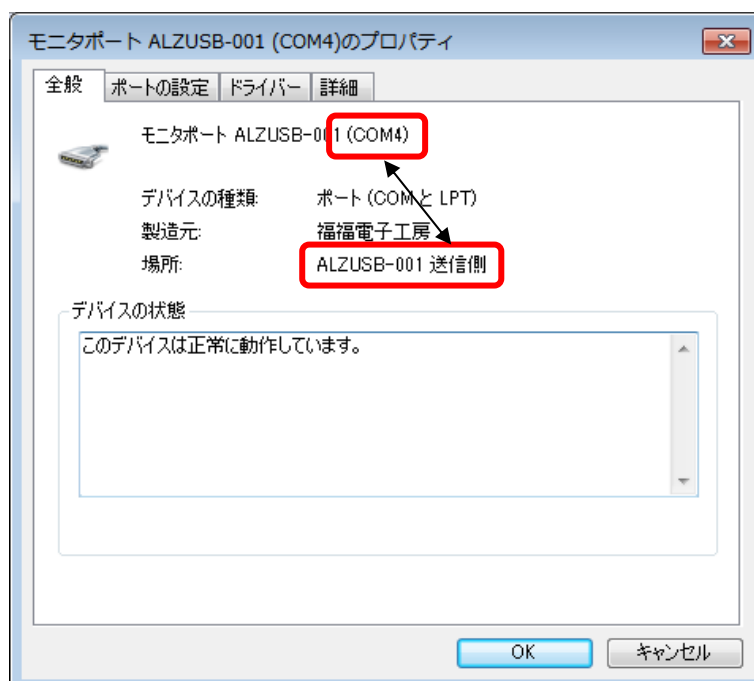


調べたい『モニタポート ALZUSB-001』をクリック選択し、ツールバーの『プロパティ』ボタンをクリックします。



モニタポート ALZUSB-001 のプロパティでは、COM のポート番号と受信側または送信側と表示されています。上記例では、COM3 が受信側となっていますので Analyze232C の COM ポート設定では、受信側ポートに COM3 を選択してください。

同様に残りのモニタポート ALZUSB-001 のプロパティを開いてください。



こちらでは、COM4 が送信側と表示されているので、Analyze232C の COM ポート設定では送信側ポートに COM4 を選択してください。

5. アンインストール

概要

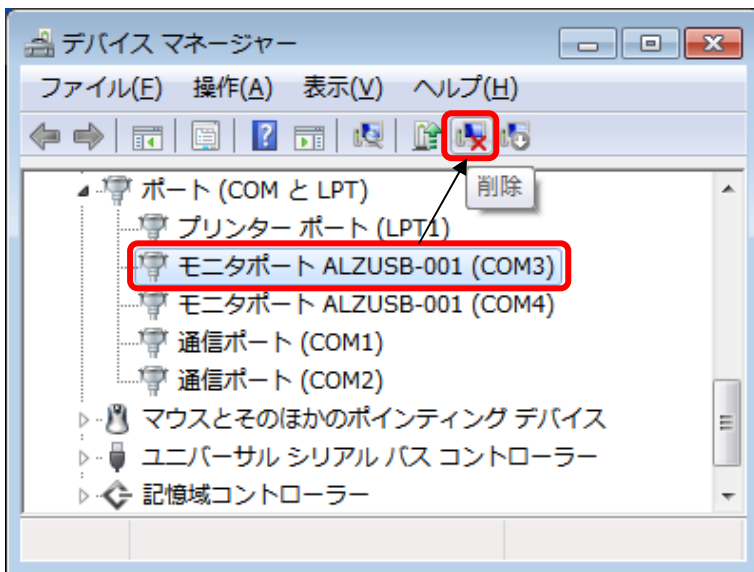
アンインストールは、デバイスマネージャーを使用してドライバソフトウェアを全て削除します。

インストール時に 2ch の COM ポートへ 2 種類のドライバをインストールしましたので、合計 4 つのドライバソフトウェアがインストールされています。

したがって、アンインストール作業は 4 回行います。

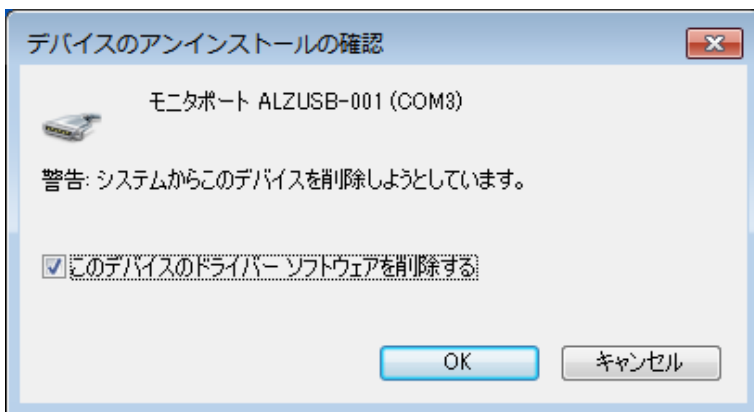
インストール手順と同様にデバイスマネージャーを起動してアンインストールを開始してください。

手順

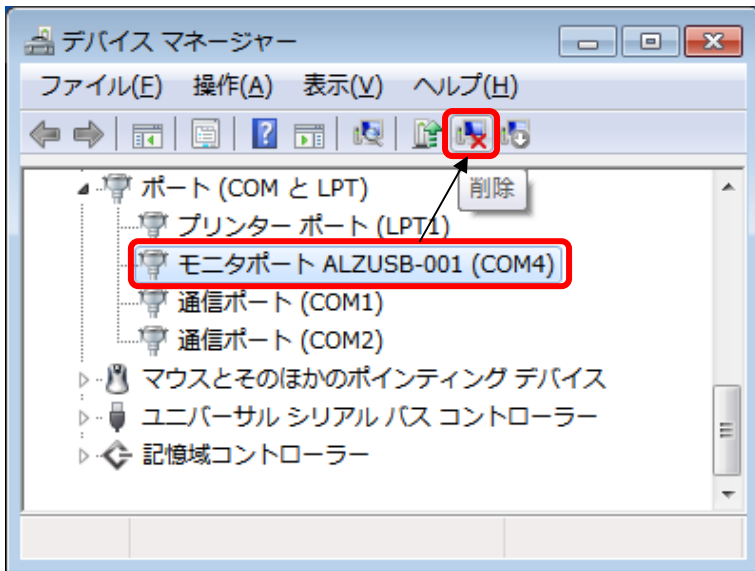


デバイスマネージャーの『ポート(COM と LPT)』を展開して『モニタポート ALZUSB-001(COM3)』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。

COM ポート番号は、ご利用の PC によって異なる場合がございます。

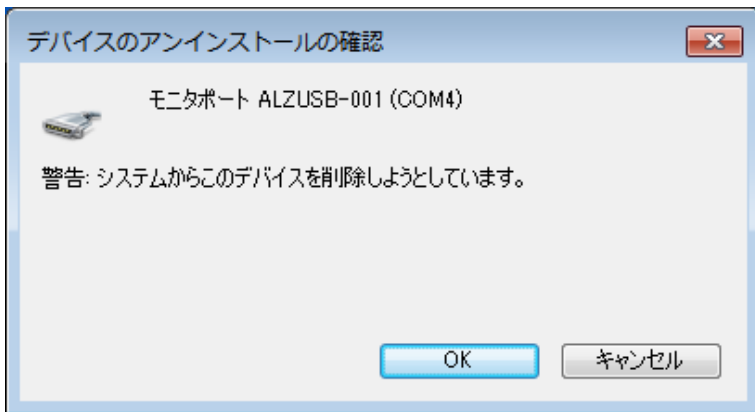


削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。

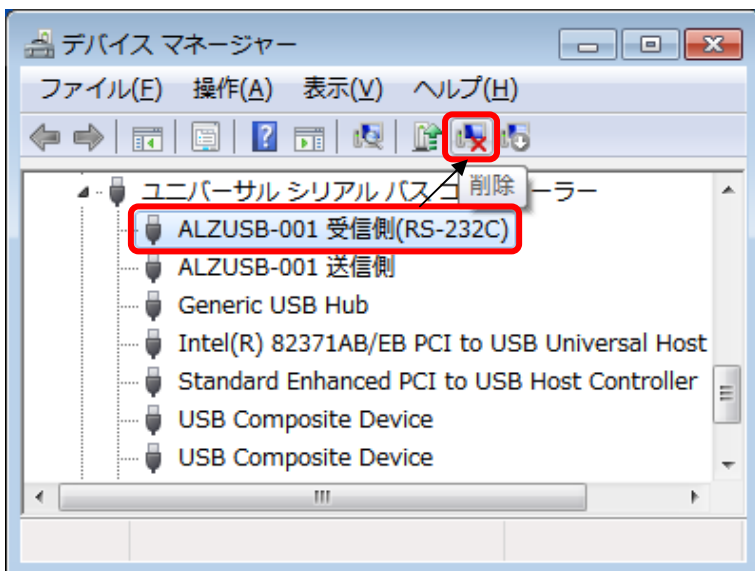


次に『モニターポート ALZUSB-001(COM4)』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。

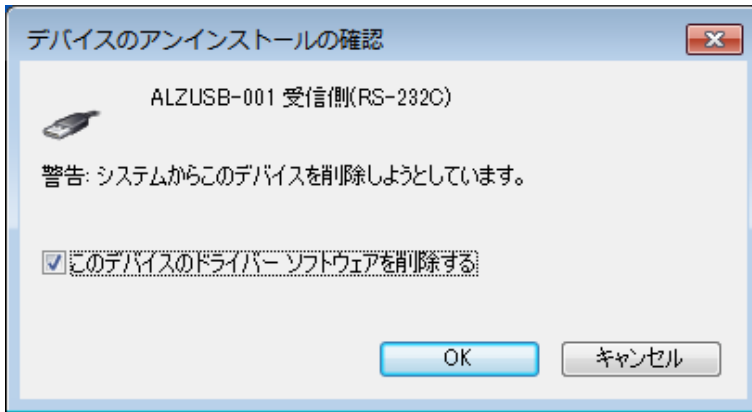
COM ポート番号は、ご利用の PC によって異なる場合がございます。



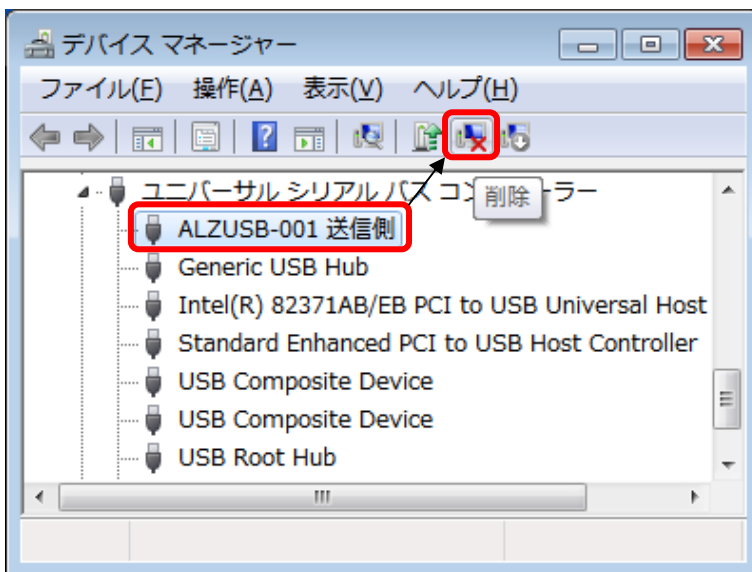
削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。



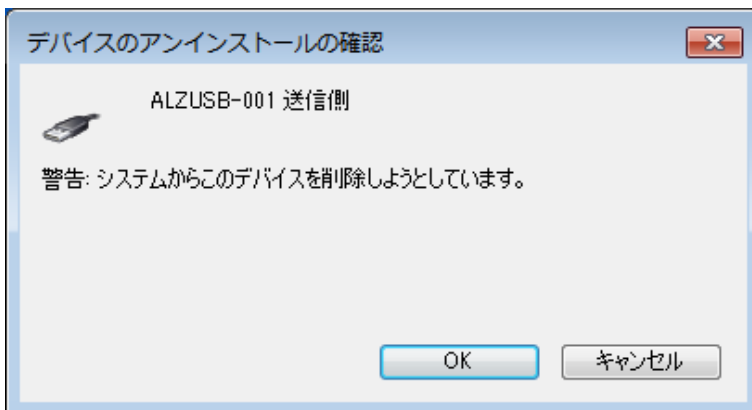
デバイスマネージャの『ユニバーサルシリアルバスコントローラ』を展開して『ALZUSB-001 受信側(RS-232C)』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。



削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。



『ALZUSB-001 送信側』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。



削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。

以上で、アンインストールが終了です。